

平成30年度水質事故対応訓練を実施しました

群馬用水は、県央地域7市町村約6,300haの農地と8市町村約100万人の飲み水を潤す重要な施設ですが、平成20年に水路内への油が不法投棄される事態が発生し、群馬用水管理所では事態の収束に全力で取り組みました。それを契機に関係機関と連携し、油流出による水質事故を想定した訓練を毎年行っております。

<平成20年の油不法投棄の概要>

1. **発見状況**：平成20年6月17日の朝6時30分頃、赤城幹線水路内において油が流れていると連絡。
2. **対応状況**：幹線水路等にオイルフェンスを設置し、油の回収（吸着処理）、被害拡大防止、監視を実施。発生から24日後の7月11日に態勢を解除。（群馬用水土地改良区、消防等の関係機関にも協力を頂く）
3. **原因究明**：水路沿いで油が投棄された形跡が発見されたが、原因者等は不明。
4. **被害**：農業・水道において被害は発生していない。

今年度は、11月15日（木）に「榛名幹線榛名流況安定施設及び広馬場第1開水路」において、水資源機構、群馬用水利水関係機関、関係市町村、協力業者、NPO法人の約40名の参加を得て水質事故対応訓練を実施しました。

開会のあと、群馬県の県央第一水道事務所から「平成29年度の水質汚濁事故の傾向」について説明をしていただき、つづいてNPO法人自然エネルギー・環境協会から「油吸着対策方法・資材等の紹介」と、オイルフェンスの設置に必要となるロープワークの指導を受けました。

その後、油流出事故発生時の「被害拡大防止」・「油回収」対応のため、実際にオイルフェンスを組み立て、広馬場第1開水路内に設置する訓練を参加者全員で行いました。

油の流出事故があった場合には、被害の拡大防止のために迅速な対応が重要となります。水路等で油が浮いているのを見かけた際は、群馬用水管理所までご一報お願いいたします。
TEL：027-251-4266

[訓練場所]



[訓練状況]

<p>① 群馬県県央第一水道事務所の講義 群馬県県央第一水道事務所より平成 29 年度の水質汚濁事故の傾向について説明をして頂きました。</p>	<p>② 油吸着対策方法・資材等の紹介について NPO 法人自然エネルギー・環境協会の講義により油吸着対策や資材についての知識を学びました。</p>
	
<p>③ 油吸着対策方法・資材等の紹介について 実演を交えた講義で、油吸着対策方法や資材に関する正しい知識が身に付きました。</p>	<p>④ ロープワークの練習 オイルフェンスの設置に必要な「巻き結び」と「もやい結び」の説明を受け結び方を練習しました。</p>
	
<p>⑤ オイルフェンスの連結 水路幅に合わせて2本のオイルフェンスの連結を行い、組み立てる訓練を行いました。</p>	<p>⑥ オイルフェンスとオイルマットの設置 斜め横断工法でオイルフェンスを水路の流れに対し45°の角度で6セット設置する訓練を行いました。</p>
	

※ 群馬用水管理所では、幹線水路の各所にオイルフェンス設置場所の整備と吸着資材の配備を進めています。